

令和3年度第2回加美町総合教育会議議事録

開催日時 令和3年10月11日（月曜日）
午前11時00分～正午

開催場所 加美町役場宮崎支所2階大会議室

出席者 加美町長 猪股 洋文
加美町副町長 高橋 洋
加美町教育委員会 委員 大場 幸 同 委員 猪股 直美
同 委員 深澤 知里 同 教育長 鎌田 稔

欠席者 なし

事務局 総務課長 相澤 栄悦 教育総務課長 上野 一典
同 専門監 引地 秀彦 同 指導主事 太田 明子
同 課長補佐 伊藤 一衛
総務課長補佐 遠藤 伸一

協議事項

- (1) 加美町立小中学校2学期制について
 - (2) 新設中学校の校名及び校歌の選考について
-

午前11時00分 開会・開議

○総務課長

只今より令和3年度 第2回 加美町総合教育会議を開会致します。開会にあたりまして、猪股町長よりごあいさつをいただきます。

○猪股町長

教育委員の皆様には日頃大変お忙しい中、加美町の教育行政の発展、そして子供たちの健やかな成長のためにご尽力賜り心から感謝申し上げます。

ようやく教育基本法の理念に我が町の教育委員会も近づいてきたと思っております。委員4人のうち2人が女性の方で、そして子育て中の方で、本来そう在るべきだったのですが、長い間加美町の教育委員会はそういう姿ではありませんでした。ようやく、色々な方々からのご理解をいただき多様な意見、子育ての意見が反映できる体制ができたことに大変嬉しく思っております。また新教育長が任命されたこと本当に嬉しく思っております。

私たちは子供たちのことを第一に考え、子供たちにとって何が大切か、この一点

に我々は目を向け取り組んでいくことが何より大事です。

私たちも皆さんのお考えを尊重しながら、この教育委員会制度、レイマンコントロールと言われておりますが、その精神で基本的には一般の町民の方々が教育について話し合っただけその方向性を決めていく、このレイマンコントロールの考え方をしっかり胸におさめ進めていくことが大事だろうと思います。出来るだけ政治的な思惑にこの教育行政は捉われず進めていくことが大事だろうと思いますので、よろしくをお願いします。

先日行われた校名・校歌を決めるワークショップに私も参加させてもらいまして、大変嬉しく思いました。小野田地区、宮崎地区の方々が和気あいあいと活発に意見を出し合いながら進めていたこと、そしてエゴをださない話し合いであったこと、本当に子供たちの事を考え新しい学校をつくっていこう前向きな姿勢で皆さん方が話し合っていたこと大変すばらしいと思って見ておりましたし、必ずこれはすばらしい統合中学校ができるという確信を得たところであります。

今日は新しい校名、校歌を決めることとなりますので、我々も色々な方々の想いを受けて良いものにしていきたいと思っております。また学校2学期制のことについても話し合われます。

最後になりますが、皆さん方にお配りした資料は全職員に配ったもので町づくりの考え方です。町づくりと教育は実は密接な関係で正に加美町の未来を担う子ども達のために町としてどういう考え方に基づいて町づくりをしているか、皆さん方にもご理解を頂きたいということでお配りをいたしました。その中でインクルーシブな共生社会を築くことが重要だと書いておりますが、昨日一昨日とインクルーシブ体験会をやくらいウオーターパークで行いました。支援学校に通っているお子さん方に来ていただいて、そして講座を受けたサポーターたちが支援してカヌーの体験をしていただいたのですが、子供たちは1時間で見ると見る変わります。また親御さんも子どもの姿をみてとっても喜んでました。そして講師としていらっしゃった東京の石原さんという方は6年前に交通事故で下半身が不随になり車いす生活を余儀なくされました方です。そこでカヌーと出会い、カヌーのすばらしさを知り、そして色々なことに意欲が湧いてきて、自分ひとりでカヌーを試みよう、ハワイでカヌーを試みよう、と、どんどん意欲が湧いて、今は私にできることがあったら協力したいということで日本カヌー協会の講師として、あちこちで講話をしているということです。正にそういう障がいをもっていても活躍できる社会をつくっていくこと、これがインクルーシブな社会、共生社会だと思っております。子ども達が若いうちからそういう意識を持つことがとても大事だと思っております。そんなことも念頭に置きながら加美町の学校教育、子供たちの育成に尽力していただければと思っておりますのでよろしくお願いします。

○総務課長

それでは協議事項に入ります。ここからの進行については猪股町長にお願いします。

(1) 加美町立小中学校2学期制の移行について

○資料「加美町立小中学校2学期制移行について 令和4年度開始に向けた進捗状況」

上記資料により、教育総務課引地専門監より説明。

移行に向けたスケジュールですが9月以降について説明させていただきます。

8月の教育民生常任委員会、教育委員会定例会において報告説明させていただいた際に出していただいた課題等について、9月以降検討してまいりました。

その中で指導経験の割合が少ない学校の現場の対応や準備であるとか、それから教育民生常任委員会で出されました児童生徒への周知の仕方について検討してまいりました。

指導経験については各学校で行事、指導内容をこれまでの準備を進めていく段階で経験のない先生方にも2学期制の対応について研修等も踏まえて周知していくことが挙げられます。

児童生徒への周知についても、今後より具体的な内容で各学校で周知していただくということで、これから具体策を考えていきます。

それから加美町立学校管理規則において、秋休みの設定について先行地の事例を参考に検討してまいりました。それでどの地域でも少ない日数ではあるが確保するというので、例えば仙台市とか栗原市であれば2日間、その他の地域であれば1日とか出来るだけ少ない日数で確保するというように進めているようです。具体的な改正案ですが、第1学期を4月1日から10月の第2月曜日まで、第2学期を10月の第2月曜日の翌日から3月31日までとしました。これについては、10月の第2月曜日が祝日スポーツの日になっておりますので、その前の土曜日、日曜日、月曜日の祝日、更に次の日の火曜日を秋休みとすることで4日間確保する観点から、多くの地域でこのような日程を取り入れておりますので、加美町もこのように倣うことにしたいと思えます。そして、冬季休業日を10月の第2月曜日の翌日とするものです。よろしくをお願いします。

○猪股町長

ただいま、事務局より説明がありました。皆さんよりご意見ご質問ありません。

これは来年度から一斉にということですか。

○引地専門監

令和4年4月から加美町立小中学校全てで実施したいと考えております。

○深澤委員

幼稚園は対象に入っていないのですか。

○引地専門監

認定子ども園については入っておりません。小・中学校のみです。

○猪股町長

県内でも大分多くの市町村で2学期制を導入しているということですよ。

○引地専門監

はい。そうです。

○猪股町長

それでは質問も特にないようですのでこの案でよろしいでしょうか。

<各委員・了解>

続きまして、新設中学校の校名及び校歌の選考について協議します。

事務局より説明を求めます。

(2) 新設中学校の校名及び校歌の選考について

○伊藤教育総務課長補佐

新設中学校の校名については、8月1日から31日まで公募をしました。その結果226件の公募があり、そのうち無効となるような校名もあり実質有効件数が183件でそのうち重複するものもありますので実質87件の公募がありました。その後統合準備委員会推進本部で公募の結果をもとに選定をし、8点に絞りました。本部での選定結果をもとに10月5日開催の統合準備委員会において4グループを編成しワーキング・検討していただきました。そしてグループごとに一つの校名に絞っていただきました。その結果四つの校名に絞られました。

①鳴峰中学校（めいほう）

②加宮野中学校（かぐや）

③虹の郷中学校（にじのさと）

④加美ふたば中学校（かみふたば）

また、校歌について検討がなされ、1案として小野田中学校、宮崎中学校の校歌を、一部歌詞を変えて使用してはどうか、2案として作詞作曲を業者へ委託して全く新しい校歌にしてはどうかということでご提案をしました。その結果ワーキングの中では一案の方の現在使っている校歌を利用するのであれば、宮崎中学校の校歌を歌詞を変えて利用したらいいのではというご意見も四つのうち二つのグループからいただきました。また、2案の一括して業者に委託してはどうかということも二つのグループからいただきました。校歌については同点でございました。以上結果報告をします。

○猪股町長

校名について4案を検討委員会から出されましたが、率直なご意見を皆さんからいただきたいのですが。

○副町長

四つの案ですが、県内には同じ校名がないことは確認してありますか。また基本的な考え方ですが同じ名前でもいいのですか。

○猪股町長

同じ名前、似たような名前、その辺りは調べてますか。

○伊藤教育総務課長補佐

四つの案と同じ名前はありません。ただ、ふたば幼稚園とか似たような名前はありますが、この四つの案の字を使ったものはありません。

○猪股町長

はい。分かりました。

○大宮委員

2案の加宮野中学校（かぐや）ですが、これは加美町、宮崎、小野田の一文字をとって加宮野（かぐや）と読ませる当て字みたいに見えるのですが、イメージがかぐや姫みたいで、なんかしっくりきません。

○深澤委員

率直な意見ですが、中学校の名前がひらがなよりは漢字が良いかと。ひらがなはイメージ的に幼稚な感じに聞こえるということと、四つの中では「鳴峰（めいほう）」はすごくカッコよく、良いと思ったのですが。

新しい時代というか、これまでにない新しいというところでは3案の「虹の郷（にじのさと）」も良いと思いました。2案の加宮野（かぐや）は読みにくい。

○猪股委員

「鳴峰（めいほう）」は強豪校というイメージがあり、部活動とか勉強とかも強いイメージがすごくあります。

名前を略した時、「鳴中（めいちゅう）」となり、何かに命中させるくらい目標に向かって頑張っていくんだという捉え方もできるのかなと思います。

みんな良いと思いますが、加宮野（かぐや）はかぐや姫のイメージが大きく思えます。

○猪股町長

鳴瀬川の鳴と峰は奥羽山脈の峰ですよね。

○大場委員

私はこの四つ以外のことを考えてまして、「鳴峰（めいほう）」は非常にいい名前だなと思います。ただ、気にかかることは全て宮崎、小野田に拘る名前を付けているので、加美町は一つなので、今度中学校は二つになり、中新田中学校と統合中学校で、中新田中学校の校歌を見ると、やくらいを仰ぎ見るということで、

今度の中学校は小野田、宮崎に拘らないで、鳴瀬川は小野田地区で、宮崎地区は田川です。私は町民憲章にある「秀峰やくらい」とありますし、葉菜の麓ということを考えれば、「鳴峰（めいほう）」でなく「秀峰（しゅうほう）」にしてはどうかと思います。小野田、宮崎のイメージを消して、新しく生まれる学校なんだと、それで中新田中学校は葉菜を仰ぐところにあって、新しくできる中学校は葉菜の麓、秀峰やくらいがあるというイメージで「秀峰（しゅうほう）中学校」が良いのではないかと思います。

○猪股町長

町民憲章の前文からとるということですね。「秀峰やくらいを仰ぎ」ということで。

○大宮委員

統合準備委員会で選定した四つの案から選ばないとまずいのでしょうか。

○猪股町長

必ずしもここから選ぶことではないということですよ、事務局。

○事務局

これを元に、一文字とか変えるというのは出来るかと思いますが。

○猪股町長

出来るだけ尊重してということですよ。これと全く違うというのはどうかと思いますが、漢字をかえるとか、その辺りは許容範囲かと思いますが。

○大宮委員

今、大場委員さんがおっしゃったとおり、「秀峰」というのも秀でて良いように思います。

○猪股町長

あえて鳴瀬川を使わない、宮崎は田川でないかということですね。他に、どうですか。

○猪股委員

「秀峰（しゅうほう）」だと略して「秀中」（集中）となるから、聞いていてすごくいいかなと。子どもたちは略してしまうので、普段使う時にじっくりくるような名前がいいかと思います。

○深澤委員

「鳴峰（めいほう）」がすごくカッコいいと思うのは、明るいという字は見るのですが、あえてそれでない「鳴（めい）」だったので、逆にかっこいいなと思ったのですが、ただ、「鳴子（なるご）」と被りますよね。そういう意味では略したときに「鳴中（なるちゅう）」になるかと。「秀峰（しゅうほう）」というのも、これもカッコいいですね。全国的にみてあまりないというのであれば「鳴峰（めいほう）」かと思います。

○猪股町長

響き的には「鳴峰（めいほう）」の方がカッコいいなという感じはしますね。

「秀峰（しゅうほう）」というのは、ある意味使い尽くされているというか、新鮮さからという観点からすると、「鳴峰（めいほう）」の方がフレッシュな感じがします。

それでは、確認をしますが、4案の中から1案をベースに検討し決めるということによろしいですか。

<各委員：了解>

○猪股町長

確かに田川は宮崎ですが、薬菜、鳴瀬川は町のシンボルですから、宮崎の方から見てどうですか。

○猪股委員

最終的には合流し一つになるので、そこは鳴瀬川でいいかと。

○猪股町長

できれば四つの提案を尊重したうえで、若干の変更は許容範囲ですが、

「鳴峰（めいほう）」でどうでしょうか。

大場委員どうですか。

○大場委員

私はどちらでもいいのですが、「鳴峰（めいほう）」は響きが良いなと思いますが、ただ先ほど申し上げたことと、町民憲章に則ったということ。そして地域差を出さないということで、「秀峰（しゅうほう）」と言ったのですが。

○猪股町長

鳴瀬川、やぐらいは旧三町それぞれの財産というか資源と考えていいのだろうと思います。宮崎は田川だという考えも当然ありますが、おそらくはあまりこのことは抵抗は無いのかなと思います。

それでは、どうでしょうか「鳴峰（めいほう）」では。ご異議ありませんか。

○猪股委員

悩みますが、「鳴峰（めいほう）」というのは山々に囲まれて、天気良くと大森山とか七ツ森まで見えるので、それが本当に素敵だなと思って見てるので、「鳴峰（めいほう）中学校」というのは、山に囲まれているすてきな学校なんだというイメージが凄くわいてきます。

○猪股町長

「鳴」という字が山々が響き渡るような映像がでてきますよね。

「秀峰（しゅうほう）」というのは、どうしても一つの山というイメージですけど、「鳴峰（めいほう）」だと連なった山々というイメージが出てきて良いなと思います。

大宮委員どうでしょうか。

○大宮委員

良いと思います。

○猪股町長

深澤委員、どうでしょうか。

○深澤委員

良いと思います。

○猪股町長

教育長、どうでしょうか。

○教育長

四つの中で絞ると、「鳴峰（めいほう）」と「虹の郷（にじのさと）」なのかと思います。

皆さんのご意見が「鳴峰（めいほう）」となれば、それでいいと思います。

○猪股町長

それでは、総合教育会議では「鳴峰中学校」とさせていただきます。

よろしいでしょうか。

<各委員：了承>

○猪股町長

次は校歌ですが、ワーキングでは2班が宮崎中学校の校歌を活用し小野田中学校の校歌を第2校歌・応援歌として活用すべきだという意見ですが、別の2班は新しく作ったらという意見で2対2だったので、事務局から再度皆さんで話し合っただけということで、話し合ってもらったのですが、2班とも想いが変わらず2対2になったもので、ここで決めたいと思います。

【宮崎中学校、小野田中学校の校歌を視聴する】

○猪股町長

どちらもすばらしい校歌です。特徴的なのは、宮崎中学校は「ふるさと」という言葉が何度も出てきます。また校名が入ってない。小野田中学校については、「やくらい」「水芭蕉」という言葉が入っている。

まずは第1案、第2案どちらにするか、現在の校歌を活かすか、或いは全く新しい校歌にするかとなりますが。

○大宮委員

両方とも本当にいい校歌だと思います。宮崎中学校の歌詞を変えないで、歴史として残したいなどもあるので、小野田中学校にしても、今まで卒業していった

人たちが、これが校歌だという想いがそれぞれ持っていて、今度は新しい中学校になったら新しい校歌で今度は我々が卒業していくんだなという想いで行ったらいいのではないかなと思います。

この二つの校歌は動かさないで、そのまま留めていてもらいたいと思います。

○猪股町長

新しい校歌をつくるということですね。

○大宮委員

前にも話したことがあるのですが、全部の小中学校の校歌を一つのCDとかに収めておくのもいいのではないかなと思うのですが。歴史を残していく。記録しての方がいいなとつくづく思います。

○猪股委員

二つの校歌を聞いて、小野田中学校の校歌を聞く前は宮崎中学校の方がいいなと思っていたのですが、小野田の校歌もすごく特徴的で素敵だなと思い聞いてました。

それであれば、校名も新しくなるので、子供たちと一緒に新しい校歌をつくっていくというのが良いのかなと、できれば現在の二つの校歌は体育館に飾って、新しい校歌は、こっちだということ。

旭小学校の閉校のときは、旭小学校の校歌をいつでも聞けるようにオルゴールにしました。何かの形として残していくことは素敵なことかと思えます。

私はこのまま残して、新しくつくった方がいいかと思いました

○深澤委員

私も2案の方がいいかと思えます。中途半端に宮崎中学校の校歌を変えてしまうよりは、それぞれが新しく始めるというのが大事なので、新しく始めるという意味を含めば、新しく作った方がいいかと思えます。

○大場委員

私も第2案でいいかと思えます。先ほど大宮委員が言ったことはすごく大事なことで、宮崎中学校、小野田中学校の校歌に手を加えるということは、イメージを悪くするので、これはどこかに残こして、新しくつくってあげた方がいいのかと思えます。

○猪股町長

全員が2案でということで、教育長は。

○鎌田教育長

異議なしです。やはり校名も変わり、新しく校歌をつくって、新しい文化をつくりあげるということで。

○猪股町長

それでは全会一致で2案ということにします。

<協議事項終了>

○総務課長

それでは、閉会にあたりまして、鎌田教育長よりあいさつをいただきます。

○教育長

今日は重要な会議で校名も決まり校歌も新しい校歌をつくるということが決まりました。

新しく良い学校をつくるという皆さんの気持ちが伝わってきました。

統合して素晴らしい学校が出来上がったと町民の皆さまに言われますよう、皆で力と知恵を合わせて邁進したいと思います。

本日はありがとうございました。

○総務課長

以上を持ちまして、令和3年度第2回加美町総合教育会議を閉会します。

お疲れ様でした。